

第 25 回 日本再生医療学会総会

中高生のためのセッション

神戸国際会議場・神戸国際展示場

ベーシックコース

2026年3月19日(木)

対象:中学生・高校生

ポスター発表テーマ:

- ①「生物」の範囲で「再生」をキーワードとしたもの
- ②再生医療などをキーワードとしたアンケート調査や倫理的課題に対する提案など

応募:8月1日～10月31日

アドバンスコース

2026年3月20日(金)

対象:中学生・高校生

募集:6チーム(各チーム3～5名)

プレゼンテーションテーマ:

「幹細胞/再生医療研究 + ○○○○ = □□□□の実現」

応募:8月1日～10月31日

作文コース

2026年3月20日(金)(表彰式)

対象:中学生・高校生

テーマ:「希望の光を失わせない Hope, Brighter Than Ever」

応募:8月1日～11月30日



詳しくはHPをご覧ください

<https://site.convention.co.jp/jsrm2026/students/>

イラスト

三重県立 四日市高等学校
企画・進行
茨城大学
京都産業大学
茨城大学

多田 素弘

教育学部 教授 石原 研治
生命科学部 准教授 川上 雅弘
教育学部 教授 鈴木 一史

2025年度 再生医療市民講座

再生医療の最先端 - 今日からできる小さな一歩 -

2026.2.7

日本再生医療学会総会の 中高生のためのセッション

京都産業大学 川上 雅弘
茨城大学 石原 研治

筆頭演者は、過去1年間(1月～12月)において、
本演題の発表に関して開示すべきCOIはありません。

中高生のためのセッション

第25回 日本再生医療学会総会
The 25th Congress of the Japanese Society for Regenerative Medicine

HOME 総会について 参加する 発表する 協賛する 問い合わせる JSRM-ISCT

希望の光を失わせ
Hope, Brighter Than Ever

2026.03.19(木) - 20(金)

会長：高橋 政代 VC Cell Therapy 会場：神戸国際会議場、神戸国際展示場 JSRM

Special Feature The 1st ISCT-JSRM Joint Symposium on Clinical IPS Cells 2026.03.21 (Sat) International Society for Cell & Gene Therapy JSRM

お知らせ

2026年01月23日
プログラムと日程表を公開しました。

2025年08月05日
一般演題 募集を開始しました。

2025年08月01日
中高生のためのセッション 募集を開始しました。

2025年07月10日
協賛ページを更新いたしました。

OFFICIAL TRAVEL GUIDE OF
— KOBE —

KOBE CONVENTION BUREAU

指定演題 座長・演者
諾否回答はこちら

総会事務局
株式会社 VC Cell Therapy

運営事務局
日本コンベンションサービス株式会社 関西支社
〒541-0042 大阪市中央区今橋4-4-7
京阪神淀屋橋ビル2階
E-mail : 25jsrm@convention.co.jp

目的

参加される中学生・高校生が教員あるいは保護者とともに再生医療への理解を深め、自己の将来、科学の真理探究や発展社会への貢献など広い視野に立ち研究者の卵として自由な発想で創造することを目的とする。

対象

中学生および高校生。参加費は無料。理系志望だけではなく、文系志望の中高生からの積極的な参加もお待ちしております。

第15回 日本再生医療学会総会より開始し、今年で11回目。

コース

ベーシックコース (ポスター発表)

- 生物の範囲内で「再生」のキーワードに広い意味でつながるもの
- 再生医療などをキーワードとしたアンケート調査や倫理的課題に対する提案など

アドバンストコース (プレゼンテーション)

- 課題「**幹細胞／再生医療研究 + ○○○○ = □□□□ の実現**」
- 各チームが、将来、実現したい □□□□ について、科学的・社会的な重要性や必要性を具体的・理論的に考え、現状の幹細胞／再生医療研究に何 (○○○○) を加えることが必要かつ最適であるのか理論的に発表してください。アイデアは研究者が想像もしないような高校生らしい独創的で自由な発想を期待しています。
- **開始以来一貫した課題**

作文コース (作文)

- 課題「**希望の光を失わせない Hope, Brighter Than Ever**」 (第25回)
「**Passion, Vision, Action – 実学としての再生医療 –**」 (第24回)
「**心 – Compassion**」 (第23回)

3つのコース設定の理由

再生医学には、医学や工学、生命科学など理系分野に限らず、法学や生命倫理学のような文系に分類される分野も交えた課題解決が求められる。



必ずしも実験や観察等による成果を求めない課題研究や個人でも参加できるプログラムを設けることができないか？



平成29・30年改訂 学習指導要領（文部科学省）が示した、
子どもたちが身につける、育成すべき資質・能力の三つの柱を意識
①知識及び技能，②思考力、判断力，表現力等，③学びに向かう力，人間性等



実験・観察研究のポスター発表（ベーシックコース）に加え、二つの企画を新設
アドバンストコース：第17回総会(2018)～
課題作文の募集：第18回総会(2019)～

参加校

通信制
クラーク記念国際高等学校

山形県
県立米沢興譲館高等学校
県立山形東高等学校

新潟県
県立新潟高等学校
県立新潟南高等学校
県立新発田高等学校

岩手県
一関工業高等専門学校

埼玉県
獨協埼玉中学高等学校
慶應義塾志木高等学校

石川県
県立金沢泉丘高等学校

茨城県
県立緑岡高等学校
江戸川学園取手中・高等学校
青丘学園つくば中・高等学校
県立水戸第一高等学校

京都府
府立園部高等学校
立命館高等学校

福井県
県立高志中学校・高等学校

大阪府
四天王寺高等学校

滋賀県
立命館守山中・高等学校

千葉県
渋谷教育学園幕張高等学校
流通経済大学附属柏高等学校

兵庫県
県立加古川東高等学校
須磨学園高等学校
神戸女学院高等学部

東京都
慶應義塾大学グローバルサイエンスキャンパス
慶應義塾女子高等学校
ドルトン東京学園
都立戸山高等学校
学習院女子高等科
東京学芸大学附属高等学校
豊島岡女子学園高等学校
香蘭女学校中等科
東京農業大学第一高等学校中等部
広尾学園高等学校
都立南多摩中等教育学校
早稲田大学高等学校
海城高等科学校
聖ドミニコ学園高等学校
宝仙学園高等科学校

鳥取県
県立米子東高等学校

神奈川県
慶應義塾普通部

岡山県
県立津山高等学校

愛知県
県立旭丘高等学校
県立岡崎高等学校
県立豊丘高等学校
県立豊橋南高等学校
海陽中等教育学校

和歌山県
県立向陽高等学校

奈良県
奈良女子大学附属中等教育学校

三重県
県立四日市高等学校

総会 (回)	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
(開催年月)	'16.3	'17.3	'18.3	'19.3	'20.3	'21.3	'22.3	'23.3	'24.3	'25.3	'26.3
(開催場所)	大阪	仙台	横浜	神戸	(横浜)	オンライン	オンライン	京都	新潟	横浜	神戸
(参加生徒延べ数)	?	?	202	229	159	227	148	115	122	99	

ポスター発表	●	●	●	●	(●)	-	-	●	●	●	●
研究者講演	-	-	●	●	(●)	-	-	●	●	●	▲
企業ブース 見学ツアー	-	-	●	●	(●)	-	-	-	-	-	-
課題プレゼン テーション	-	-	●	●	(●)	-	-	●	●	●	●
作文	-	-	-	●	●	●	●	●	●	●	●

参加生徒数約 1,300 名
参加校 約 53 校



ベーシックコースの様子

第24回での結果

金賞

広尾学園高等学校

【FOPモデルにおけるmTORシグナルを介した骨化メカニズムの解明】

銀賞

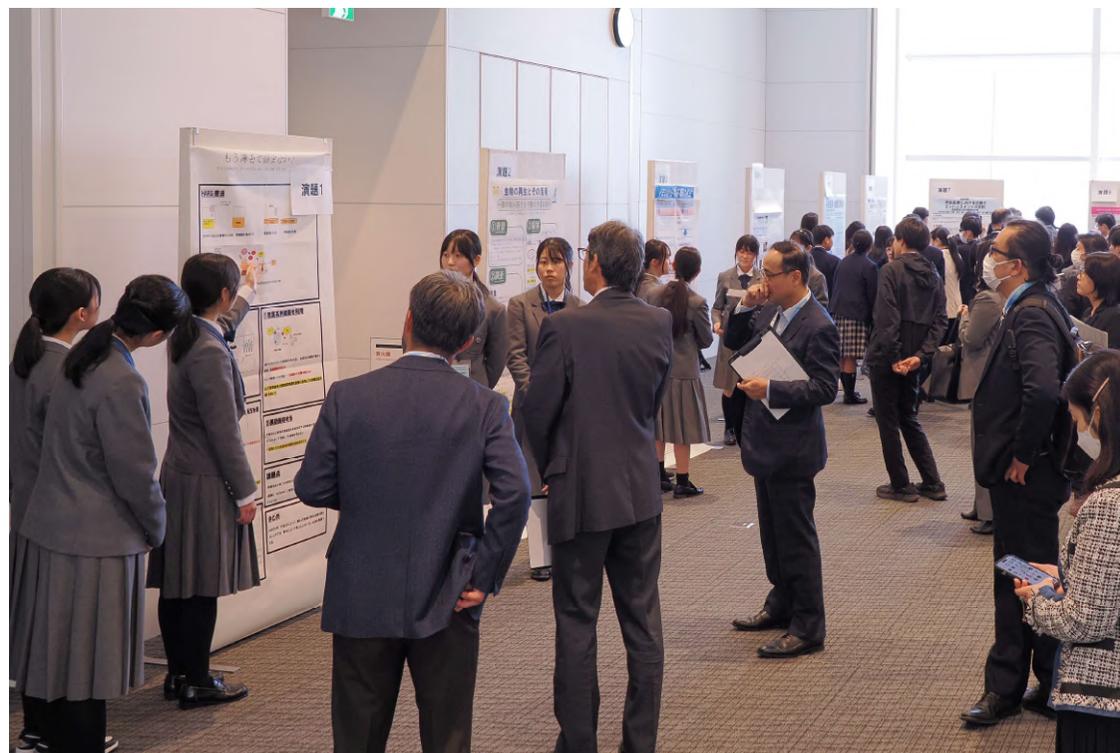
慶應義塾普通部

【踏まれても強いオオバコ (*Plantago asiatica* L) の生存戦略に関する研究】

銀賞

四天王寺中学校

【様々な動物種における発癌と生活環境、再生能力の関係に関する調査】



審査員

長崎大学	江口 晋 先生
大阪大学	加藤 和人 先生
新潟大学	芝田 晋介 先生
京都大学	堀田 秋津 先生

作文コースの様子

第24回

「Passion, Vision, Action

—実学としての再生医療—

中学・高校生の皆さんは、学校の「総合的な探求の時間」の授業で、教科を超えたいろいろな社会的な課題に取り組んでいることと思います。そしてさらに具体的な行動に移している人もいないでしょうか。再生医療は、病気に苦しむ患者さんを何とか治したいとの思いを出発点に、研究分野や領域を超えて思いが集まり、様々に融合しながら今も進化し続けています。昨年度は、大会のテーマとして「Compassion」を掲げ、この作文コンクールにも熱い思いを持った皆さんからの作文が寄せられました。本年度は、その情熱「**Passion**」をさらに進化させ、未来のあるべき姿を描く「**Vision**」、それを実現させるための具体的な行動「**Action**」までをテーマとしています。熱い情熱を持った皆さんが、どのような未来を描き、そのためにどのような行動を起こすのかを教えてください。しかし、私たちが皆さんに期待する未来の姿は再生医療に限るものではありません。またその行動とは、大学に入るために一生懸命に勉強するというようなことではありません。もちろんこの勉強は大切なことです。過程にすぎないと考えています。その向こうにある皆さんが描く「**Vision**」を明確にし、そこに向かう自分の道のりを示してください。私たちも、皆さんとともに社会の課題を解決すべく行動し続けたいと考えています。

金賞

「治す医療から支える医療へ」

(慶應義塾女子高等学校 1年)

協力 茨城大学 教育学部 国語教育 教授 鈴木 一史



アドバンストコースの様子

参加数：6チーム

9:20 ~10:40	<p>クローズド発表会</p> <p>(課題) 幹細胞/再生医療研究+○○○○=□□□□の実現 各チームが準備してきた課題を発表 審査員不在 発表4分 各チームは発表を聞きながらアドバイスシートを記入</p>
11:00 ~12:00	<p>意見交換</p> <p>「オープン発表会に向けて、チームの垣根を越え全員が一丸となって、各チームのプレゼンをより良いものにする」 アドバイスの交換 他チームから教えてもらいたいことなど意見交換</p>
12:00 ~14:00	<p>昼食と最終プレゼンの準備</p> <p>意見交換を踏まえ、オープン発表会に向けてプレゼンの修正</p>
14:30 ~15:20	<p>理事長講演・会長講演の聴講</p> <p>学会のスケールを感じていただく</p>
15:40 ~17:00	<p>オープン発表会</p> <p>(課題) 幹細胞/再生医療研究+○○○○=□□□□の実現 最終準備で完成させた課題を発表 発表5分 審査員による審査</p>
17:45 ~18:15	<p>表彰式</p>



金賞

早稲田大学高等学院・慶應義塾志木高等学校・海城高等学校
「早慶城」

【幹細胞/再生医療研究 + CRISPR-Cas ϕ と免疫寛容の融合
= より正確で安全な遺伝子治療の実現】

銀賞

三重県立四日市高等学校 「四高からの電撃発表」

【幹細胞/再生医療研究 + 発電生物
= 持続可能なエネルギー開発と医療研究への応用】

アドバンストコース課題への取り組み

応募～採択～当日

HP への掲載



応募 (10月)

- ・ 課題に対する抄録の提出

幹細胞／再生医療研究+○○○○=□□□□の実現



審査と採択 (11月)

- ・ 採択結果+レビューワーからのコメント返送
- ・ 「こんなものを実現したいという夢を語る場。夢は妥協しない。そして、その夢は叶えるもの。では、その夢はどうしたら叶えられるのか？実現のために乗り越えなければならない課題はあるのか？」
- ・ 各チームへ修正を依頼



抄録の再提出 (2月)

- ・ 当日に向けより良いものへの再考を促す

採択に向け
チーム内議論

当日に向け
チーム内議論修正

当日に向け準備
チーム内・学内

9:20 ～10:40	クローズド発表会 (課題) 幹細胞／再生医療研究+○○○○=□□□□の実現 各チームが準備してきた課題を発表 審査員不在 発表4分 各チームは発表を聞きながらアドバイスシートを記入
11:00 ～12:00	意見交換 「オープン発表会に向けて、チームの垣根を越え全員が一丸となって、各チームのプレゼンをより良いものにする」 アドバイスシートの交換 他チームから教えてもらいたいことなど意見交換
12:00 ～14:00	昼食と最終プレゼンの準備 意見交換を踏まえ、オープン発表会に向けてプレゼンの修正
14:30 ～15:20	理事長講演・会長講演の聴講 学会のスケールを感じていただく
15:40 ～17:00	オープン発表会 (課題) 幹細胞／再生医療研究+○○○○=□□□□の実現 最終準備で完成させた課題を発表 発表5分 審査員による審査
17:45 ～18:15	表彰式

他の参加チーム
に向けた内輪の発表会

6チーム合同の意見交換
参加者内

各チーム修正
他者の意見を聞き
理解し受け入れつつ
信念を貫く

学会参加者・審査員
に向けた発表会

審査員

茨城大学 瀧澤 利行 先生
 東京科学大学 武部 貴則 先生
 ジャパン・ティッシュエンジニアリング
 畠 賢一郎 先生
 藤田医科大学 八代 嘉美 先生

表彰式・記念撮影

賞状

金賞

「幹細胞再生医療研究+CRISPR-Cas9と免疫寛容の融合=より正確で安全な遺伝子治療の実現」

早稲田大学高等学院・慶應義塾志木高校・海城高等学校 早慶城

お名前は消しています

殿

貴殿は第24回日本再生医療学会総会「中高生のためのセッション-アドバンストコース」に於いて頭書の成績を収められましたのでここに賞します

令和7年3月21日

一般社団法人 日本再生医療学会



理事長 岡野 栄之
会長 中村 雅也

賞状

金賞

「治す医療から支える医療へ」

慶應義塾女子高等学校 1年

お名前は消しています

殿

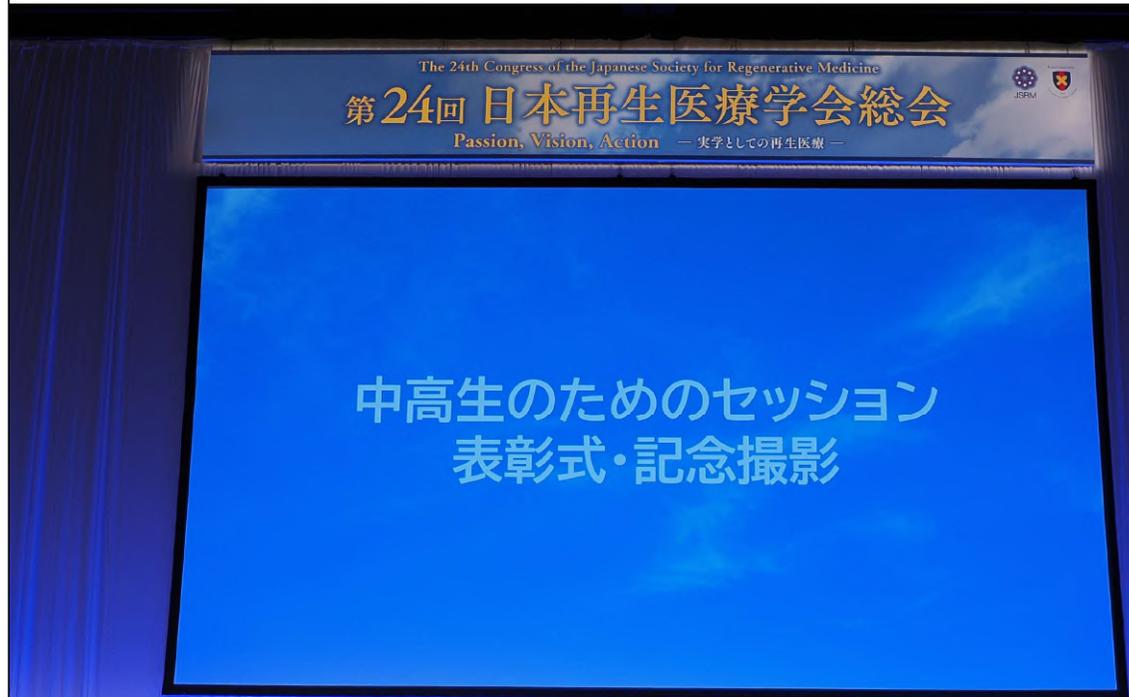
貴殿は第24回日本再生医療学会総会「中高生のためのセッション-作文コース」に於いて頭書の成績を収められましたのでここに賞します

令和7年3月21日

一般社団法人 日本再生医療学会



理事長 岡野 栄之
会長 中村 雅也



まとめ

知識・技能

思考力・判断力・表現力

主体性・協働性
社会参画・将来展望

総合的な学習の時間 (小・中)・総合的な探究の時間 (高)

文部科学省

中央教育審議会答申 (平成28年12月21日)

「幼稚園，小学校，中学校，高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」

- 人間は感性を豊かに働かせながら、どのような未来を創っていくのかという目的を自ら考え出すこと
- どのように社会や人生をよりよいものにしていくのかという目的を自ら考え出すこと
- 答えのない課題に対して、多様な他者と協働しながら目的に応じた納得解を見い出したりすることができる

育成を目指す資質・能力の三つの柱

学習する子供の視点に立ち、育成を目指す資質・能力の要素を三つの柱で整理。

学びに向かう力，人間性等

どのように社会・世界と関わり，よりよい人生を送るか

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を
総合的にとらえて構造化

何を理解しているか 何ができるか

知識及び技能

理解していること・できることをどう使うか

思考力，判断力，表現力等

【参考】学校教育法第30条第2項
生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。

- 中高生のためのセッションは、生徒の力を伸ばす当学会のオリジナリティのある取り組みとなっていると思われる。
- 中高生セッションへの参加は、再生医療研究の学際性を知る機会であり、科学の真理探究や発展社会への貢献に当事者意識を醸成する場にもなっているのではないかと。

謝辞

(ご所属は当時)

理事長

大阪大学
慶應義塾大学
大阪大学

澤 芳樹 先生
岡野 栄之 先生
西田 幸二 先生

会長

第 15 回

大阪大学

西田 幸二 先生

第 16 回

東北大学

出澤 真理 先生

第 17 回

東京大学

鄭 雄一 先生

第 18 回

鳥取大学

汐田 剛史 先生

第 19 回

慶應義塾大学

福田 恵一 先生

第 20 回

東京医科歯科大学

森尾 友宏 先生

第 21 回

東京女子医科大学

清水 達也 先生

第 22 回

京都大学

高橋 淳 先生

第 23 回

新潟大学

寺井 崇二 先生

第 24 回

慶應義塾大学

中村 雅也 先生

第 25 回

VC Cell Therapy 高橋 政代 先生

講師

第 17 回

理化学研究所
広島大学
京都大学

高橋 政代 先生
山本 卓 先生
中川 誠人 先生

第 18 回

慶應義塾大学
東京大学
大阪大学
京都大学
大阪大学
鳥取大学
京都大学

小林 英司 先生
鄭 雄一 先生
西田 幸二 先生
中川 誠人 先生
澤 芳樹 先生
汐田 剛史 先生
山中 伸弥 先生

第 19 回

京都大学
鳥取大学
慶應義塾大学
東京医科歯科大学

高橋 淳 先生
汐田 剛史 先生
小林 英司 先生
片野 尚子 先生

第 22 回

東京医科歯科大学
京都大学

武部 貴則 先生
山中 伸弥 先生

第 23 回

東京医科歯科大学
慶應義塾大学
新潟大学

片野 尚子 先生
岡野 栄之 先生
寺井 崇二 先生

第 24 回

新潟大学
慶應義塾大学
慶應義塾大学

芝田 晋介 先生
岡野 栄之 先生
中村 雅也 先生

審査員

第 17 回

京都大学
京都大学
茨城大学
茨城大学
東京医科歯科大学

八代 嘉美 先生
和田 濱裕之 先生
瀧澤 利行 先生
鈴木 一史 先生
片野 尚子 先生

第 18 回

慶應義塾大学
東京女子医科大学
理化学研究所
東京大学
東京大学
京都大学
茨城大学
大阪大学
ジャパン・ティッシュエンジニアリング

岡野 栄之 先生
清水 達也 先生
高橋 政代 先生
鄭 雄一 先生
星 和人 先生
高橋 淳 先生
瀧澤 利行 先生
西田 幸二 先生
島 賢一郎 先生

第 19 回

東京女子医科大学
国立成育医療研究センター研究所

大和 雅之 先生
梅澤 明弘 先生

長崎大学
新潟大学
東京大学
大阪大学
神戸大学
大阪大学
茨城大学
京都大学
神奈川県立保健福祉大学

江口 晋 先生
大島 勇人 先生
星 和人 先生
村上 伸也 先生
青井 貴之 先生
岡田 潔 先生
瀧澤 利行 先生
田畑 泰彦 先生
八代 嘉美 先生

第 22 回

京都大学
東京大学
新潟大学
ジャパン・ティッシュエンジニアリング

杉本 直志 先生
鄭 雄一 先生
寺井 崇二 先生

茨城大学

島 賢一郎 先生
瀧澤 利行 先生

第 23 回

慶應義塾大学
京都大学
新潟大学
佐賀大学
新潟大学
山口大学
茨城大学
順天堂大学

家田 真樹 先生
金子 新 先生
芝田 晋介 先生
中山 功一 先生
大島 勇人 先生
高見 太郎 先生
瀧澤 利行 先生
飛田 護邦 先生

第 24 回

長崎大学
大阪大学
新潟大学
京都大学
茨城大学
東京科学大学
ジャパン・ティッシュエンジニアリング

江口 晋 先生
加藤 和人 先生
芝田 晋介 先生
堀田 秋津 先生
瀧澤 利行 先生
武部 貴則 先生

藤田医科大学

島 賢一郎 先生
八代 嘉美 先生

協力

蒲郡再生医療産業化推進委員会
新潟県教育庁
参加いただいた中高生のみなさま
担当教員のみなさま
保護者のみなさま

日本再生医療学会のみなさま